

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 25. 6. 4 第 183 回国会第 5 号

6 月 4 日（火）、第 5 回の委員会が開かれました。

1 自衛隊法の一部を改正する法律案（内閣提出第 63 号）

- ・小野寺防衛大臣、鈴木外務副大臣、江渡防衛副大臣、城内外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

武藤 容治君（自民）

- ・自衛隊による在外邦人等の輸送に係る安全の要件について、現行法の「当該輸送の安全について外務大臣と協議し、これが確保されていると認めるとき」から「当該輸送において予想される危険及びこれを避けるための方策について外務大臣と協議し、当該輸送を安全に実施することができる」と認めるとき」と改正することとした趣旨について、防衛省に伺いたい。
- ・自衛隊による在外邦人等の陸上輸送について、派遣先国の同意が得られない、または同意は得られたが、当該国が必ずしも治安を確保できない場合の対処について、防衛省に伺いたい。
- ・今後、在外邦人救出等の海外での新たな任務を自衛隊に付与する場合には、自己保存型に限定された現在の武器使用権限の拡大を検討する必要があると考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

遠山 清彦君（公明）

- ・本法律案では「輸送の安全」の要件に係る規定が明確化されているが、その安全の具体的な判断基準について、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・輸送中の襲撃等様々な事態に対応するため、現地情勢に詳しい人の協力が必要であると考えますが、現地で車両を借り受けた際の運用方針について、防衛省の見解を伺いたい。
- ・海外における緊急事態が発生した場合の情報収集体制について防衛省に伺いたい。

渡辺 周君（民主）

- ・海外における邦人輸送だけではなく、邦人救出を目的とした法改正について、今後検討していくべきと考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・本法律案成立後、迅速な陸上輸送を行うための準備として、予め近隣諸国と協議をするべきと考えるが、防衛省に伺いたい。

- ・我が国における災害等の緊急事態に際して、他国から相互主義に基づいた自国民輸送のための軍隊派遣の申請があった場合の判断について、外務省の見解を伺いたい。

中丸 啓君（維新）

- ・陸上自衛隊員が携行するファーストエイドキットのうち、PKOに派遣された隊員が携行するものと我が国内における活動で携行するものとの薬品等構成の相違について、防衛省に伺いたい。
- ・MV22 等のティルト・ローター機は、垂直離着陸が可能で輸送能力が高いという利点に加え、費用面においても、多数運用することで現在自衛隊が運用している航空機と大差がないと考えるが、ティルト・ローター機の導入についての防衛省の見解を伺いたい。
- ・海外において、攻撃される可能性が高い等の情報があり、車両等による邦人の輸送が行えない場合に、政府は当該国に在留する邦人の保護についてどのように対処するのか、小野寺防衛大臣に伺いたい。

島中 光成君（みんな）

- ・本法律案において武器使用基準が緩和されなかった原因は、自己保存型を超える武器使用は憲法が禁止する武力行使にあたる恐れがあるという内閣法制局による憲法解釈にあるのか、または他に原因があるのか、小野寺防衛大臣に伺いたい。
- ・2001 年 4 月に土井たか子議員が提出した「小泉内閣発足にあたって国政の基本政策に関する質問主意書」に対する答弁書において、憲法解釈について「変更については十分に慎重でなければならない」との答弁があり、十分慎重であれば解釈を変更することも可能であるとも考えられるが、憲法の解釈変更に対する小野寺大臣の見解を伺いたい。
- ・我が国における情報収集体制の確立のためには、官民共同で海外における情報収集を行う新しい試みが必要であると考えますが、我が国のインテリジェンス体制の在り方について外務省の認識を伺いたい。

赤 嶺 政 賢君 (共産)

- ・国際武力紛争又は内乱の際に派遣先国政府のみの同意に基づき在外邦人の陸上輸送を実施した場合、自衛隊の派遣が敵対行為とみなされ攻撃の対象となるおそれがあると考えているが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・イラク特措法第8条の広報協力に基づき行った平成16年4月の在イラク邦人等の陸上輸送は、本法律案の陸上輸送の対象となり得るのか、防衛省の見解を伺いたい。
- ・陸上輸送において危険を避ける方策とは、だれがどのように行うのか。また、紛争下では危険を避けるための方策を取ったとしても、実際の輸送中に攻撃を受ける可能性も否定できないと考えているが、防衛省の見解を伺いたい。

玉 城 デニー君 (生活)

- ・自己保存型の武器使用権限を陸上輸送にも適用することで十分であると考えている理由について小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

- ・国防を任務の主とする自衛隊とは別に在外邦人・企業が活動する地域の情勢に対応できる組織を編成することが憲法上可能と考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・2003年以降縮小していた米海兵隊の部隊配備計画の再開は、安倍政権が以前から表明している「地元負担の軽減」と矛盾すると考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

照 屋 寛 徳君 (社民)

- ・自衛隊が車両による在外邦人輸送を行う際、現地における情報システムをどのように確立するのか、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・緊急事態に際しては最も有効な方策を選択するという総合的判断が求められるが、防衛省は具体的にどのような対策を行うのか、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・自民党が憲法改正や国防軍創設や集団的自衛権行使を認める政策を進めていることが、アジア各国に日本の右傾化への懸念を与える要因と考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。